

3 ^{けんぼんちやくしよくしや か じゆうろくぜんしんぞう} 絹本著 色釈迦十六善神像 1面 [有形文化財(絵画)]

[所在地] 明日香村岡

[所有者] 岡寺

[法量] 縦106.6cm 横58.8cm

[時代] 南北朝時代

[概要]

釈迦十六善神像は大般若經の
^{てんごく} 転読において本尊として用いら
 れた画像で、本図は明日香村の
 岡寺に伝来した。釈迦を中心に
^{げんじょうさんぞう} 玄奘三蔵や^{じんじやだいしやう} 深沙大將を表わす
 内区と、^{かつちゆう} 甲冑を着た十六善神を
 整然と配置する外区からなる^{まん}曼
^{だら}荼羅的な構図は大変珍しく、他
 に類例がない。

図様全体に^{きんでい}金泥や^{きりかね}截金を用い
 繊細な装飾を施すほか、全体に
 裏面からも彩色を施し、部位に
 応じて異なる彩色を用いるなど
 非常に丁寧に仕上げられている。
 釈迦がまとう衣は縁や裏面まで
 明確に描き分け、玄奘三蔵が背
 負う^{おい}笈に積まれた経巻を一点ず
 つ表わすなど図像の細部も入念
 に表現されている。

比較的目の細かい^{えぎぬ}画絹を用い
 る点やのびやかな墨線、繊細な
 装飾技法などから、制作は南北
 朝時代と考えられる。

本品は、珍しい曼荼羅的図像
 を示す釈迦十六善神像の遺例と
 して高い価値をもつ。

